



# RSウイルス感染症 乳幼児・高齢者は要注意！

令和4年9月14日

富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

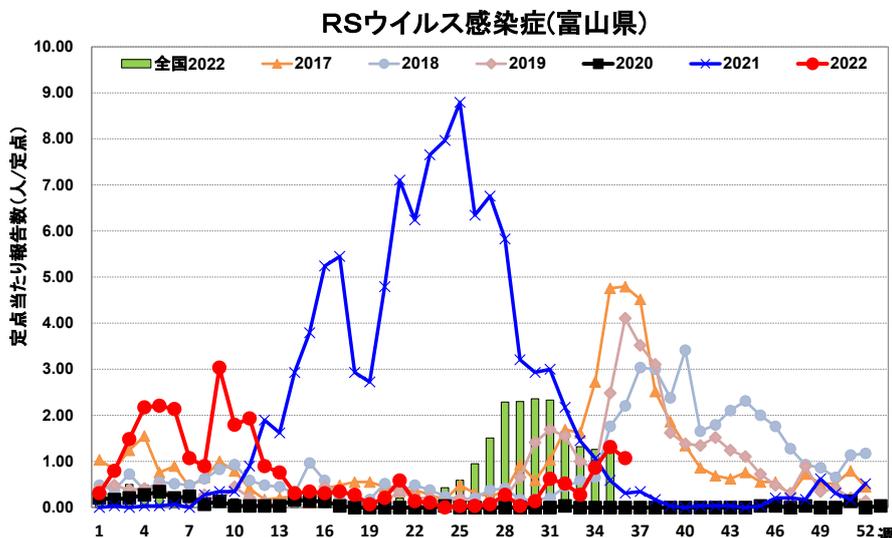
## 感染症発生動向速報

(令和4年第36週分・9月5日～9月11日)

### 《インフォメーション》

#### ●RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、RSウイルスを原因とする急性呼吸器感染症です。今週、県内のRSウイルス感染症の報告数は、定点医療機関当たり1.07人で、先週(1.31)より減少しました。RSウイルス感染症の全国における報告数は、2016年頃から、夏から徐々に増加し秋にピークを迎える傾向がありました。新型コロナウイルスが発生した2020年には全く流行が認められませんでした(図：折れ線(黒))、2021年には春から夏にかけて大きな流行がありました(図：折れ線(青))。



今年の富山県では2～3月に小流行がありました。その後の症例数の増加はありませんでした(図：折れ線(赤))。今後、秋期に報告数が増加する可能性もあるため、注意が必要です。県内報告例の大半は1～3歳の乳幼児であり、多くの症例が幼稚園、保育所、家庭内等で発生していることが推定されます。

RSウイルス感染症は、感染から4～6日の潜伏期間の後、鼻汁、咳、発熱などの上気道症状が認められます。1歳未満、とくに6ヵ月未満の乳児や早産児では重症化しやすく、入院治療が必要となる場合もあります。高齢者や心臓・肺に持病のある人では重症化する場合があります。主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。現在、有効なワクチンや治療薬はないため、手洗いや手指消毒、マスク着用などの基本的な感染対策で予防を徹底しましょう。また、幼稚園や保育所の流行状況に注意し、体調が悪いお子さんがいるときは、登園を控えさせるようにしましょう。

### 《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 6,512件 (暫定値)
- 二類感染症 結核 1件 (80歳代、男性)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (第35週診断分：70歳代、男性、G群)
- 梅毒 3件 (①第3週診断分：50歳代、男性、早期顕症梅毒I期  
②第4週診断分：30歳代、男性、早期顕症梅毒I期  
③第22週診断分：30歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	手足口病	3.93 (↑)	2.62
2位	感染性胃腸炎	2.59 (↑)	1.93
3位	RSウイルス感染症	1.07 (↓)	1.31
4位	ヘルパンギーナ	0.38 (↓)	0.59
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34 (↑)	0.07
6位	突発性発しん	0.31 (↑)	0.10

○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第36週 令和4年9月5日～令和4年9月11日）

分類	疾患	今週報告分（第36週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	536	566	1,756	736	2,915 <sup>※1</sup>	3	6,512	10,420	9,022	34,599	12,254	48,369 <sup>※1</sup>	388	115,052
二類感染症	結核			1				1	1	4	28	9	27		69
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								2	1	4	1	10		18
四類感染症	E型肝炎								1						1
	つつが虫病									1					1
	レジオネラ症								3		9	5	11		28
五類感染症	アメーバ赤痢										1		2		3
	ウイルス性肝炎										3				3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										4	2	6		12
	急性脳炎										4				4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								3		5		8		16
	後天性免疫不全症候群										1		1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1		4		5
	侵襲性肺炎球菌感染症											3		5	8
	水痘（入院例）										1			3	4
	梅毒								2		9	3	23		37
	播種性クリプトコックス症												3		3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1		1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										1				1
	RSウイルス感染症			3	7	21		31	30	45	313	66	341		795
	咽頭結膜熱	2						2	54	37	155	12	116		374
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1		9		10	31	10	107	22	181		351
	感染性胃腸炎	10	10	11	2	42		75	637	630	1,665	604	1,992		5,528
	水痘			1				1	3	9	45	1	28		86
	手足口病	6	8	30	11	59		114	61	138	481	53	355		1,088
	伝染性紅斑	1				1		2	2	1	4	1	6		14
	突発性発しん	1		4	1	3		9	21	25	113	30	94		283
	ヘルパンギーナ	4	1	2		4		11	80	103	54	4	36		277
	流行性耳下腺炎								1		5	4	1		11
	流行性角結膜炎								10	4	7				21
	細菌性髄膜炎											1	1		2
	無菌性髄膜炎												1		1
	マイコプラズマ肺炎											1			1
インフルエンザによる入院患者（※3）														0	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 県報道資料の判明日調査中は、公表前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。  
 ※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。